

主題：キリストを経験し、享受し、表現する

メッセージ 49

ヨハネの手紙において(1)

わたしたちの内側におられる主イエスの流れ——永遠の命の交わり

聖書：Ⅰヨハネ 1:1 — 2:2

I. ヨハネの手紙、特に彼の第一の手紙は、永遠の命の交わりについての奥義を明らかにしています——Ⅰヨハネ1:3-4, 6-7:

- A. 交わりとは、すべての信者の内側にある永遠の命の流れであり、それは新エルサレムにある命の水の流れによって例証されています。キリストのからだの実際、実際における召会生活は、わたしたちの内側におられる主イエスの流れです。この流れる方は、わたしたちの内側で首位とならなければなりません——2-4 節、啓 22:1、コロサイ 1:18 後半、参照、エゼキエル 47:1。
- B. 交わりとは、流れる三一の神です。御父は命の源泉であり、御子は命の泉であり、その霊は命の川です。この流れは、永遠の命の総合計、すなわち、新エルサレムという結果になります——ヨハネ 4:14 後半、啓 22:1-2。
- C. 交わりとは、三一の神、すなわち、父、子、霊を、信者たちの中に分け与えて、彼らの唯一の分また祝福とならせ、彼らに今日、また永遠にわたって享受させることです——Ⅰコリント 1:9、Ⅱコリント 13:14、民 6:22-27。
- D. 交わりは、個人的な利益を放棄して、ある共通の目的のために他の人たちと結びつくことを示します。このゆえに、神聖な交わりの中にいることは、わたしたちの個人的な利益をわきへ置き、使徒たちや三一の神と結びついて、神の定められた御旨を遂行することです——使徒 2:42、Ⅰヨハネ 1:3。
- E. 交わりは、教えからやって来ます。もしわたしたちが間違った事を教えたり、使徒たちの教え、すなわち、神のエコノミーの教えと異なる事を教えるなら、わたしたちの教えは、分派的で分裂的な交わりを生み出すでしょう——使徒 2:42、Ⅰテモテ 1:3-6、6:3-4、Ⅱコリント 3:8-9、5:18。
- F. Ⅰヨハネは、神聖な交わりの原則を明らかにしています。Ⅱヨハネが明らかにしていることは、わたしたちはキリストを否定する人たちと交わりを持ってはならないということです (7-11 節)。Ⅲヨハネが明らかにしていることは、わたしたちが神の家族の一つの交わりの中にとどまるべきであるということです。それは、福音と言葉の務めとのために旅をしている人たちを、神にふさわしく送り出すことによってであり、また召会の中でかしらになることを愛さないことによってです (5-10 節)。

II. 永遠の命の交わりは、その霊の一の中でキリストのからだの中に生きることの実際です——Ⅰコリント10:16-18、使徒2:42、エペソ4:3:

- A. わたしたちは、神聖な霊、すなわち聖霊によって、神聖な交わりの垂直の面に入ります。交わりのこの面は、わたしたちが三一の神を愛して彼と交わることを指して

- います——Ⅱコリント 13:14. Iヨハネ 1:3, 6. マルコ 12:30。
- B. わたしたちは、人の霊によって、神聖な交わりの水平の面に入ります。交わりのこの面は、わたしたちが霊を活用して互いに愛し合うことによって、互いに交わることを指しています——ピリピ 2:1. 啓 1:10. Iヨハネ 1:2-3, 7. Iコリント 16:18. マルコ 12:31. ローマ 13:8-10. ガラテヤ 5:13-15。
- C. 一つの神聖な交わりは、織り交ぜられた交わりです。水平の交わりは垂直の交わりと織り交ぜられます：
1. 使徒たちの初期の経験は、御父との、また御子イエス・キリストとの垂直の交わりでした。しかし、使徒たちは永遠の命を他の人たちに伝えたとき、神聖な交わりの水平の面を経験しました——Iヨハネ 1:2-3. 参照、使徒 2:42。
 2. わたしたちと聖徒たちとの水平の交わりは、わたしたちを主との垂直の交わりへともたらしめます。その後、わたしたちと主との垂直の交わりは、わたしたちを聖徒たちとの水平の交わりへともたらしめます。
 3. わたしたちは、神聖な交わりの垂直の面と水平の面の両方を維持して、霊的に健康にならなければなりません——参照、Iヨハネ 1:7, 9。
- D. 神聖な交わりは、クリスチャン生活におけるすべてです：
1. 交わりがなくなると、神もなくなります。神は交わりとしてやって来ます——Ⅱコリント 13:14. 啓 22:1。
 2. この神聖な交わりの中で、神はわたしたちと織り交ぜられます。このように織り交ぜることは、神と人とのミングリングであり、神聖な構成要素をわたしたちの霊的存在の中にもたらし、わたしたちを命において成長させ、造り変えます——レビ 2:4-5。
 3. 神聖な交わりは、わたしたちをブレンディングし、わたしたちを調節し、わたしたちを調整し、わたしたちを調和させ、わたしたちを共にミングリングして、一つからだとならせます——Iコリント 10:16-18. 12:24-25。
- Ⅲ. 神聖な交わりの享受の中にとどまるために、わたしたちはキリストを、わたしたちの性質における内住の罪のために、罪のためのささげ物とする必要があり、またわたしたちの振る舞いにおける罪深い行為のために、違犯のためのささげ物とする必要があります——Iヨハネ 1:8-9. 3:20-21. レビ 4:3. 5:6. ヨハネ 1:29. ローマ 8:3. Ⅱコリント 5:21. Iペテロ 2:24-25：
- A. 罪はサタンの邪悪な性質です。サタンはアダムの墮落を通して、自分自身を人の中に注入しました。そして今や不法の罪深い性質となって、墮落した人の中で一つの法則として住み、行動し、働いています——ローマ 5:12, 19 前半, 21 前半. 6:14. 7:11, 14, 17-23. 詩 51:5. Iヨハネ 3:4. 参照、Ⅱテサロニケ 2:3, 7-8。
- B. キリストをわたしたちの罪のためのささげ物とすることの意味は、わたしたちの古い人が対処されること（ローマ 6:6）、墮落した人の性質の中にある罪が罪定めされること（8:3）、罪そのものであるサタンが滅ぼされること（ヘブル 2:14）、この世が裁かれること、この世の支配者が追い出されることです（ヨハネ 12:31）：
1. 「この世の支配者」の「支配者」という言葉は、権威や権力、権力を求める争いを暗示しています——ルカ 4:5-8. 参照、マタイ 20:20-21, 24. Ⅲヨハネ 9 節。

2. 権力を求める争いは、肉、罪、サタン、この世、この世の支配者の結果、結末です——ガラテヤ 5:16-17, 24-26。
 3. わたしたちの肉の中にある罪の法則は、自然な力、強さ、活力であって、神と争います。罪のためのささげ物の法則は、わたしたちが享受している霊なるキリストの命の法則であって、それはわたしたちを罪の法則から自動的に、自然に解放します——ローマ 7:23, 8:2, レビ 6:24-30, 参照、7:1-10。
- C. わたしたちが、わたしたちの罪のためのささげ物としてのキリストにあずかるのは、彼をわたしたちの命として、すなわち、他の人の罪を負う命として享受するという意味においてです。それによってわたしたちは、神の民の問題を負うことができます。それはキリストを彼らに、罪を対処する命として供給し、彼らをその霊の一の中に保つことによってです——I ヨハネ 5:16, レビ 10:17。
- D. 光である神とわたしたちとの真の、親密な、生きた、愛情に満ちた交わりを通して (I ヨハネ 1:5, コロサイ 1:12)、わたしたちは自分が罪深いことを認識し、キリストをわたしたちの罪のためのささげ物、また違犯のためのささげ物とします：
1. わたしたちは主を愛して享受すればするほど、さらにわたしたちは自分がどんなに邪悪であるかを知ります——イザヤ 6:5, ルカ 5:8, ローマ 7:18。
 2. 自分が罪深い性質を持っていることを認識し、キリストをわたしたちの罪のためのささげ物とすることによって、わたしたちは裁かれ、征服させられます。この認識はわたしたちを保護します。なぜなら、それによってわたしたちは自分自身の中に何の確信も持たないようになるからです——ピリピ 3:3, 参照、出 4:6。
 3. 神を表現し代行するという定められた御旨のために造られた人は、神以外のもののためであるべきではなく、絶対的に神のためであるべきです。こういうわけで、何であれわたしたちが自分自身から行なう事は、良い事であれ悪い事であれ、それは自分自身のためです。それは自分自身のためであって、神のためではないのですから、それは神の目に罪深いものです。罪は、自己のためであることです——創 1:26, イザヤ 43:7, ローマ 3:23 :
 - a. 自分自身のために主に仕えることは、罪です。自分自身を宣べ伝えることは、罪です——民 28:2, 列王下 5:20-27, マタイ 7:22-23, II コリント 4:5。
 - b. わたしたちの義なる行ないをすること、例えば、施しをすること、祈ること、断食することは、自分自身のために、自分自身を表現し見せびらかすためであるなら、それは罪です——マタイ 6:1-6。
 - c. 自分自身のために (自分の名声、地位、益、誇りのために)、他の人たちを愛することは、罪です。自分自身のために、自分の将来のために子供たちを育てることは、罪です——ルカ 14:12-14, 参照、I コリント 7:14。
 4. 主はわたしたちの失敗を用いて、わたしたちがどんなにひどく、醜く、忌むべき者であるかをわたしたちに見せます。それによってわたしたちは、自己からのものすべてを放棄し、完全に神に頼るようになります——詩第 51 篇, ルカ 22:31-32, ローマ 8:28。
- E. キリストを違犯のためのささげ物の実際とすることは、贖う方、照らす方、王として支配する方として彼を経験して、命の交わりの中で彼を命の供給として享受する

ことです—— I ヨハネ 1:1 — 2:2. 啓 21:21, 23. 22:1-2 :

1. わたしたちはキリストをわたしたちの違犯のためのささげ物とするとき、わたしたちのすべての罪と純粹でないものを徹底的に告白して、正しく純粹な良心を持つ必要があります——使徒 24:16. I テモテ 1:5, 19. 3:9. II テモテ 1:3. ヘブル 9:14. 10:22。
 2. もしわたしたちが自分の罪を告白するなら、神はご自分の言葉において信実であられるので、わたしたちの罪を赦してください、またご自分の贖いにおいて義であられるので、すべての不義からわたしたちを清めてくださいます。さらにまた、わたしたちの長兄でもあるキリストは、御父と共にあるわたしたちの弁護者であり、わたしたちと御父との中断した交わりを回復してください。それはわたしたちが神聖な交わりの享受の中に住むためです—— I ヨハネ 1:7, 9. 2:1-2。
 3. 神の御子イエスの血の清めが解決するのは、神からの分離の問題、わたしたちの良心における罪定めの問題、サタンからの訴えの問題です。こうしてわたしたちが神の臨在に満ちた日常生活を持つことができるようにします——詩 103:1-4, 12-13. 32:1-2. 啓 12:10-11。
 4. 神聖な光の中でわたしたちの罪を告白して、キリストをわたしたちの違犯のためのささげ物とすることは、生ける水としてのキリストを飲んで、わたしたちが新エルサレムとなるための道です——ヨハネ 4:14-18。
 5. キリストをわたしたちの違犯のためのささげ物として、罪の赦しを受けることの結果は、わたしたちが神を畏れ、神を愛することです——詩 130:4. ルカ 7:47-50。
- IV. わたしたちは神聖な交わりの中でキリストを享受しているとき、わたしたちの靈的生活における四つの極めて重要な事柄の循環を絶えず経験します。それは、永遠の命、永遠の命の交わり、神聖な光、神の御子イエスの血です。そのような循環はわたしたちを、神聖な命の成長において前進させます。そしてついにわたしたちは命の円熟へと至り、一人の完全に成長した人に団体的に到達し、キリストの豊満の身の丈の度量にまで到達します—— I ヨハネ 1:1-9. ヘブル 6:1. エペソ 4:13。